

令和2年3月18日 13:00から14:00
(報告30分, 質疑30分)
経営研究所第12回定例研究会

ラオスにおける会計教育の充実 に関する研究 － 学習教材開発とその効果性の検証 －

研究者代表 国田清志(商学部教授)
共同研究者 菱山 淳(商学部教授)
伊藤和憲(商学部教授)
岩田弘尚(経営学部教授)

目 次

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 プロジェクトの概要 | 3 講義とアンケート調査 |
| 1.1 プロジェクトの経緯 | 3.1 受講者アンケートの結果 |
| 1.2 研究目的 | 3.2 テキストや解説の改善点 |
| 2 ラオス簿記検定試験 | 4 表敬訪問と実態調査 |
| 2.1 ラオス簿記検定試験の体系 | 4.1 表敬訪問 |
| 2.2 原価計算初級の出題範囲・内容 | 4.2 企業訪問 |
| 2.3 学習テキストの比較 | |
| 2.4 CVP分析のテキストの構成 | まとめ |

1.1 プロジェクトの経緯

① 日本・ラオスプロジェクトの開始(3年間)

2019年3月6日 「ラオス国内における簿記教育の発展・普及に関わる協力協定」の締結

- ・ラオス商工会議所
- ・ラオス国立大学
- ・川崎商工会議所
- ・専修大学

② プロジェクト予算

- ・専修大学研究助成(大型共同)・・・経営研究所
- ・「専修大学教育振興協力資金」募金

1.2 研究目的

1 テキスト制作の進捗報告

- ・ ラオス副首相兼財務大臣
- ・ スポーツ教育大臣
- ・ ラオス商工会議所会頭
- ・ ラオス会計士・監査人協会会長
- ・ ラオス国立大学副学長
- ・ ラオス日本センター長
- ・ 在ラオス日本大使館大使

2 テキストの評価

- ・ ラオスでの簿記検定試験に向けた制度体系の構築
- ・ CVP(コスト・営業量・利益)分析のテキスト制作
- ・ 講義内容とテキストに対する受講者の評価

3 ラオスでの会計実践の実態調査

- ・ 大企業と零細企業の会計実態・・・大企業はIFRS, 零細企業は規制なしは事実かの調査
- ・ 中小企業の2018年に調査済み・・・GAAP推奨しているが, 導入率は低い

2.1 ラオス簿記検定試験の体系

レベル		初級簿記会計		中級簿記会計	上級簿記会計
試験/テキスト		初級 (5級)	基礎 (4級)	中級 (3級)	上級 (2級)
商業簿記	テーマ	収支計算	試算表	財務諸表	株式会社会計
	内容	基本概念 仕訳（基本） 現金出納帳 (30分)	期中仕訳 仕訳帳 試算表 (30分)	決算修正仕訳 損益計算書 貸借対照表 (80分)	資本会計 株主資本等変動計算書 (80分)
原価計算	テーマ	CVP分析	勘定連絡図	製品原価計算	経営のための原価計算
	内容	利益計画 収益管理 (30分)	原価分類 製造間接費の配賦 製品原価の計算 (30分)	製品原価計算 製造業における財務諸表 製造業における仕訳 (40分)	標準原価計算 直接原価計算 (40分)
試験時間		60分	60分	120分	120分

2.2 原価計算初級の出題範囲・内容

1. 原価計算の基礎概念

原価計算を身につけるうえで基本的知っておくことを理解する。

- (1) 原価概念
 - 目的、活動、資源
 - 資源の消費（量）
- (2) 原価の計算
 - 原価と収益
 - 部門
 - 責任、責任者
 - 製品とサービス
- (3) 原価の分類
 - 材料費、労務費、経費
 - 直接費と間接費
- (4) 損益計算
 - 製造原価、販売費および一般管理費
 - 売上総利益、営業利益

2. 利益の計画と統制

利益はどのように変化するか、なぜ利益が変化したのかを把握する。

- (1) CVP分析
 - 変動費と固定費の計算
 - 売上高の計算
 - 貢献利益と営業利益の計算
 - 損益分岐点分析
- (2) 予算実績差異分析
 - 売上高予算と実際売上高
 - 売上高の差異分析（販売数量差異と販売価格差異）

3. 製品別（サービス別）期間損益計算

どの製品（サービス）が利益を出しているかを把握する。

- (1) 原価の集計
 - 直接費の計算（直課）
 - 間接費の計算（配賦）
- (2) 在庫の原価
 - 月末仕掛品原価の計算
 - 月末製品原価の計算
- (3) 製品別（サービス別）の損益計算書
 - 売上原価の計算
 - 販売費および一般管理費の計算
 - 製品別（サービス別）の売上総利益、営業利益

出典: 日本商工会議所のHP(2019)

2.3 学習テキストの比較

著書	滝澤みなみ, TAC出版開発グループ(2018)	資格の大原(2018)	尾畑裕, 挽文子(2018)
内容	第1章 原価計算の基礎 原価計算の必要性 原価とは?	第1章 原価を計算しよう! なぜ原価を計算するの? 原価って何?	第1章 原価計算の基礎 目的と活動 原価の分類 直接費と間接費 部門と責任者 製造原価の分類と記録 サービスの原価計算
	第2章 CVP分析 変動費と固定費 損益分岐点分析の売上高 目標営業利益を達成するための売上高	第2章 利益の計画を立てよう! 利益を計画するには CVP分析 収益の管理(予算実績差異分析)	第2章 CVP分析と売上高の予算差異分析 CVP分析とは 貢献利益 防げ! 赤字転落 売上高の予算実績差異分析
	第3章 予算実績差異分析 予算実績差異分析とは?		
	第4章 原価計算の流れ 原価計算の基本的な流れ	第3章 製造原価を計算しよう! 製造原価の分類 材料費の計算 労務費の計算 経費の計算	第4章 製造原価の分類と計算 材料費 労務費 経費 製造間接費の配賦 志柿品の原価
	第5章 材料費 材料の分類 材料を消費したときの処理 材料費の計算		
	第6章 労務費 労務費の分類 労務費の計算		
	第7章 経費 経費の分類 経費を消費したときの処理	第4章 製造間接費を計算しよう! 製造間接費の発生額 製造間接費の配賦	第5章 製品別に計算しよう! 完成品(製品)原価の計算 売上原価の計算
	第8章 製造間接費 製造間接費の直課 製造間接費の配賦		
	第9章 製品原価の計算 完成品原価・月末仕掛品原価の計算 売上原価・月末製品原価の計算	第6章 損益計算書を作ろう! 損益計算書とは	第3章 損益計算 利益の計算 売上原価の計算
	第10章 損益計算書の作成 損益計算書とは? 損益計算書の作成 損益計算書の問題の解き方① 損益計算書の問題の解き方②	第2章 原価情報を記録しよう! 原価計算情報の記録	第9章 仕訳の作成 勘定と仕訳
	第11章 原価計算初級の仕訳 原価計算で必要となる仕訳例		

滝澤みなみ, TAC出版開発グループ(2018)『スッキリわかる日商原価計算初級』TAC出版。
資格の大原(2018)『土日で合格る日商原価計算初級』中央経済社
尾畑裕・挽文子(2018)『日商原価計算初級』中央経済社

2.4 CVP分析のテキストの構成

ページ	テキストの内容
1	上部に経営課題を具体例で示し，下部に本テキストの学習目標を示す。
2	上部に経営者の役割とPDCAサイクルを図解し，下部で解説する。
3	上部に利益計画について図解し，下部で解説する。
4	上部にCVP分析と損益計算書の関係を図解し，下部で解説する。
5	上部にCVP関係を図解で明らかにするとともに，下部で解説する。
6	上部に損益分岐点分析の求め方を算式で示し，下部で解説する。
7	上部に利益図表を図示し，下部で解説する。
8	上部に目標利益達成の売上高の求め方を図示し，下部で解説する。
9	上部に収益管理の考え方を図解し，下部で解説する。
10	上部に差異分析の考え方を図解し，下部で解説する。
11	上部に売上高差異分析を図解し，下部で解説する。
12	クイズ1と2を出題する。
13	クイズ3と4を出題する。

3.1 受講者アンケートの結果

質 問		平均値	標準偏差	1	2	3	4	5	無回答
①	テキストの図はわかりやすいですか。	1.62	0.58	13	21	3	1	0	1
②	テキストの文章表現はわかりやすいですか。	1.52	0.66	18	16	4	1	0	0
③	テキストの内容に関心はありますか。	1.62	0.65	18	14	7	0	0	0
④	テキストの量は適切ですか。	1.33	0.47	21	14	3	1	0	0
⑤	講師の話は分かりやすいですか。	1.75	0.77	15	13	8	2	0	1
⑥	講師の話は関心がありましたか。	1.62	0.72	18	15	6	0	0	0
⑦	講師の話のスピードは適切ですか。	2.05	0.92	12	14	9	2	0	2
⑧	テストは有益ですか。	1.38	0.65	27	10	2	0	0	0
⑨	テストは講義内容と合っていますか。	1.48	0.66	20	16	3	0	0	0
⑩	テストは易しかったですか。	1.95	0.65	9	22	8	0	0	0

- ①～④はテキストの評価 平均が1.33～1.62なので、よくできている。
 ⑤～⑦は講師の評価 平均値は1.62～2.05、ばらつきもあり、若干難しかった。
 ⑧～⑩はテストの評価 平均値が1.38から1.95で、少し難しかったようである。

3.2 テキストや解説の改善点

第1の改善点: 会計用語

- ① 固定費の例示として減価償却費は削除すること。
- ② 貢献利益と営業利益の解説をすること。

第2の改善点: テキストの修正

- ① CVP公式を本文に書いたが、図示でも示すこと。
- ② CVP図表が小さすぎるため、2枚に分割すること。
- ③ 損益計算書の数値が計画値か実績値か、年度も明示すること。

第3の改善点: その他

- ① 「利益の立案」は「利益の作り込み」と表現すること。
- ② テストの模範解答を示すこと。
- ③ アンケート用紙に自由記入欄を設けるべきだったこと。

4.1 表敬訪問(その1) (9月8日から13日の4泊6日)

① ラオス財務省(9月9日)

Somedy Douangd副首相兼財務大臣

- ・ 本プロジェクトに対する理解と協力を示す。
- ・ ラオ語によるテキスト制作には好意的な反応であった。

② ラオス商工会議所(9月10日)

Oudet Souvannavong会頭

Daovone Phachanthvong副会頭

- ・ 本プロジェクトに全面的協力を示す。
- ・ 早く試験を実施したいとの意向が示された。

4.1 表敬訪問(その2)

③ ラオス国立大学(9月10日)

Houngphet Canthavong副学長

- ・ 協力関係の強化を確認した。
- ・ 学生のスキル向上への貢献が期待された。

④ ラオス国立大学経済経営学部(9月10日)

Thongpheth Chanthanivong副学部長

その他5名の先生方

- ・ 簿記普及に協力するとの意向が示された。
- ・ 招聘予定の先生方から快諾を得た。

4.1 表敬訪問(その3)

⑤ ラオス日本センター(9月10日)

Bounlouane Douangneuneセンター長
米山芳春JICA所長

- ・ MBAの担当教員が独自にテキスト作成している。
- ・ MBAプログラムの簿記教育に利用したいとの意向。

⑥ ラオス大使館(9月11日)

若竹恵三特命全権大使

- ・ 本プロジェクトに協力するとの意向をいただく。
- ・ テキスト出版への協力を依頼した。

4.1 表敬訪問(その4)

⑦スポーツ教育省(9月11日)

Sengdeuane Lachanthaboune大臣

- ・ ラオスの状況を考えたテキスト制作を期待された。
- ・ 農業簿記のテキスト開発の要望を受けた。

⑧ラオス会計士・監査人協会(9月11日)

Phirany Phissamay会長

- ・ 零細企業に現金主義，中小企業に発生主義を適用する。
- ・ CPAの再講習プログラムとしてACCAをテキストに採用。

4.2 実態調査 (9月12日)

① LAODI社・・・従業員20名の小規模企業

事業内容: ラム酒の製造販売

経営者 : 井上育三とSihattha Rasphoneの共同経営

- ・ 会計業務は営業や販売との兼務していた。
- ・ 発生主義での簿記記録が義務付けられる。

② EDL-Gen社・・・従業員500名の大企業

事業内容: 電気・ガス発電事業

特 長: ラオス最初の上場会社(2011年1月11日)

- ・ ラオス版IFRSを適用していた。
- ・ 連結貸借対照表は固定性配列法で表示していた。

まとめ

① 進捗状況の報告

- ・ 2018年の訪問時はプロジェクトに懐疑的だった。
- ・ ラオ語のテキストを持参したら好意的になった。

② 講義と受講者の評価

- ・ テキストの評価はよかった。
- ・ 講義内容は少し難しかった。

③ ラオスの会計実践

- ・ 小規模企業では経理の専任がいなかった。
- ・ 大規模企業では固定性配列法を採用していた。
- ・ ラオス企業ではラオス版IFRSが採用されていた。

謝 辞

- 経営研究所から大型予算を助成していただきありがとうございました。
- プロジェクトが決まったのに動きが取れず困っていました。
- この助成金のおかげで4名のラオス出張，テキストの翻訳を行うことができました。
- SMJ Vol.9, No.2への研究ノートの掲載にも感謝申し上げます。